



TAKE FREE

「コロナと”音楽で戦う”」がテーマ

世界中が大変な世の中。医者ではない身では、コロナと戦うことはできないけれど、私たちミュージシャンは、この状況下における「人の心の憂い」と寄り添い、癒すことで、このパンデミックの「心の問題」と戦って行ける。『自分ができることで、コロナと戦っていく』それがこの活動のテーマのひとつです。

2020年7月、サクソ侍誕生。

そうしたテーマもあり、2020年7月からこの姿で演奏活動を開始。

なぜこの恰好に？

コロナの流行が始まり、ストリートミュージシャンも感染予防が必要に。「フェイスシールドでも付けて演奏しようか？」と考えた際に、たまたまこの「浪人笠」を思いつきました。「和風フェイスシールド」として5万円もする笠を購入。スべたらどうしようと思っていたのですが、意外と皆さんの反応も良く、内心ホっとしているところです。

遠出できない日常に”非日常”を。

この姿になる際に、やはりミュージシャンとして抵抗はありました。「音楽でなく見た目で釣るのか」と。しかし、県外にもなかなかかけられない世の中。テーマパークなどの非日常を体験しにくい日々の中で、仕事帰り等のこんな姿の奴がいたら…。少しは非日常を味わって貰えるのではと思い、「恰好だけ」と言われられないような演奏をすればよだけ。と決心し、この姿でやることにしました。

「虚無僧」じゃないよ。

よく「虚無僧」と間違えられますが、これは虚無僧笠ではなく、侍や浪人が被る「浪人笠」。



浪人笠



虚無僧笠

時代劇をよく見ていたので、皆知ってるものだと思いますが、これは誤算でした。

Twitterのフォロワー数「47,000人」

実はTwitterのフォロワー数もかなり多く、現在47,000人。見かけた方も結構呟いてくれています。名古屋市内の個人・企業合わせたアカウントの中では44位と、お陰様でかなり良い順位となっています。

まっすぐな楽器は「ソプラノサクソ」

よく「クラリネット」と間違えられますが、この



コロナ禍の名古屋に突如現れた、サクソを吹く謎の侍。

—なぜこの姿で？ 何のためにこんなことをしているのか？

神出鬼没

いつどこに現れるか？は公開していません。サプライズで見つける楽しさを味わって頂ければ幸いです。

「名古屋の動くパワースポット」

有難いことに「名古屋の動くパワースポット」と呼んでくださる方もいらっしゃいます。探してもなかなか見つけられない人もいますので「見つけられた！ラッキー！」とSNSで呟く人も多くいらっしゃいます。

これを仕事にしているの？

いえ。趣味です。平日の昼間は普通にサラリーマンをしています。

楽譜はほとんど読めない。

実は楽譜はほとんど読めないのですが、耳で音を取って演奏しています。速い曲や難しい曲でなければ、口で歌える程度に知っている曲であれば吹けます。1, 2曲でしたらリクエストOKです。

まっすぐな楽器は「ソプラノサクソ」と言って、サクソの一種。他にも「テナーサクソ」「アルトサクソ」を合わせて3本の楽器で演奏しています。



誰もが知っている”優しいバラード”を。

選曲は「誰もが知っている曲」を中心に演奏しています。小難しい曲を演奏しても誰にも分かりませんし、目的と違ってきてしまうので。曲調はバラード中心。賑やかな曲は、嫌いな人には騒音になってしまうので「街のBGM」になるような演奏を心がけています。

聴いてくださった方の声(Twitterより)

- 初めてサクソ侍という路上アーティストの方に遭遇したけど、ここまで心揺さぶるものはないと思った
- 今日ふと聴いてきた演奏で初めてサクソ侍さんを知りました。社会人デビューして疲労で心身ボロボロになってましたが、おかげで心が浄化されました。帰り道を癒しの空間にしてくださりありがとうございます
- 子供がサクソしたいと言い出した。この前通りすがりに見たサクソ侍さんがめっちゃカッコよかったからあんな風に演奏してみたいと

- やったあああサクソ侍だああ!!!!!!(近いのにホントたまにしか会えない)
- サクソ侍会いたくて!栄いったらいてくれた!!
- #サクソ侍さんやあああ!!!! 時間が許す限りずっと聞かせて頂きました。優しくも心打たれる音色 流石名古屋の歩くパワースポット! 感動のあまり何度泣いたかでも、なんか心がほっこりしたよ。私もこんな素敵な音を出せる人になりたい

本日は、お聴きいただきありがとうございました。
よろしければSNSのフォローもよろしくお願いします。

Website



Twitter



Instagram



Youtube

